

第55回県学童軟式野球さくら市予選会開催要項

1. 主催 さくら市野球連盟
2. 会期 令和6年6月15日(土)・16日(日)・22日(土)
予備日：6月23日(日)・29日(土)
3. 会場 さくら市総合公園B球場
4. 参加チーム さくら市野球連盟に登録したチームであること。
チームは、監督、コーチ2名の他、選手25名以内で編成し、必ず責任者をつけること。
責任者は、成人とし男女を問わない。また、チームの全てのことに關して責任を持って処理する。
5. 適用規則 2024年公認野球規則及び競技者必携「学童に関する事項」ならびに別に定める大会特別規則を適用する。
6. 使用球 (財)全日本軟式野球連盟公認球健康J号とし、毎試合2個チーム持ちとする。
7. 選手登録及び 指定の選手登録申込書及び参加料8,000円を代表者会議時に持参してください。
8. 代表者会議 令和6年6月4日(火) 午後6時30分から
氏家公民館 第3研修室
9. 開会式 開会式は行わない。
10. 表彰 優勝・準優勝チームを表彰する。
11. 競技方法 (1)大会は4チームによる総当たりとする。
(2)全試合6イニングとし試合成立の回数に関係なく試合時間は90分とする。
(3)同点の場合は時間内でも延長戦は行わず、大会特別規則を適用し勝敗を決する。
<大会特別規則>
継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。すなわち、0アウト・二塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。
なお、勝負が決しない場合は抽選とする。
(4)全試合5回以降の攻撃を均等に完了し7点差が生じた場合はコールドゲームを適用する。
(5)全試合、日没、降雨コールドの成立イニングは4回とする。
(6)投手の投球制限を次のとおり適用する。
 - ①1日70球以内(4年生以下は60球)
 - ②規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
 - ③ボークにかかわらず投球したものは投球に数える。
 - ④タイブレークになった場合は、1日の規定投球数以内で投球できる。
 - ⑤準備投球や牽制球、送球は投球数としない。

(7)勝敗が同位になった場合の順位決定

(i) …総失点の少ない方を上位とする。

なお、総失点が少ない場合であっても、コールドゲームにより敗退した試合があるチームを下位とする。

また、両チームともにコールドゲームでの敗退が無く勝敗が同位の場合は、当該チーム同士の対戦のいて勝利したチームを上位とする。

(ii) …勝敗が同位且つ失点と同点且つコールドゲームによる敗戦の数が同位の場合は抽選とする。

12. 服装・用具

(1)同一チームの各選手（監督、コーチを含む）は全員、同色同型、同意匠のユニフォームとし、アンダーシャツは同色のものでなければならない。

(2)スパイクは、選手は金属製のものは禁止する。

(3)試合中、打者、走者、次打者、ベースコーチはJ C B B公認の両耳付きヘルメット、捕手は公認マスク、プロテクター、レガース、ファールカップ及び捕手用ヘルメットを着用しなければならない。また、全てのヘルメット、捕手用マスクはS G基準のものでなければならない。

13. 運営方法等

(1)ベンチに入れる人員は、登録されユニフォームを着用した監督（成人であること）、コーチ2名、選手25名以内とし、その他、チーム責任者、マネージャー、スコアラー各1名とする。

(2)試合中はもちろん、練習中でもユニフォームを着用していない者はグラウンドに出られない。また、コーチはベンチを出て指示を出してはいけない。

(3)投球制限の球数カウントは、各チームより成人1名を選出して頂き、大会本部設置のカウントボードにて投球数を管理し、それを正式投球数とする。

(4)公認野球規則書、競技者必携を携行すること。

(5)前の試合の3回終了時に監督と主将が打順表を提出し攻守を決定する。

(6)攻守決定後、先発投手のみブルペンを使用し投球練習ができる。

(7)当日試合の実施の判断は、午前6時30分に現地にて判断する。

14. 健康管理

(1)選手はあらかじめスポーツ障害保険に加入しておくこと。また、試合中におきた負傷については、チームにおいて一切の処理を行うものとする。

【大会に関する問合せ】

さくら市野球連盟 事務局 佐藤 TEL 090-2329-8794

※月曜～金曜日は午後5時30分以降にお願いします。